

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
第3回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成27年9月30日15:00～16:45

2. 場所：札幌第1合同庁舎10F共用第4会議室

3. 出席者 28名

北海道開発局(3名)、北海道運輸局、札幌管区気象台、陸上自衛隊北部方面総監部(4名)、北海道、札幌市(2名)、北海道立総合研究機構地質研究所、日本測量協会北海道支部(2名)、建設コンサルタント協会北海道支部、北海道GIS・GPS研究会(2名)、北海道GIS技術研究会、日本写真測量学会北海道支部(2名)、北海道測量設計業協会、NPO法人Digital北海道研究会(2名)、北海道大学、酪農学園大学、国土地理院北海道地方測量部(2名)

4. 議事

- (1) 防災・災害関連の地理空間情報の活用に関する取組のご報告
 - ・災害時緊急撮影データの活用について
日本写真測量学会北海道支部 齋藤健一
 - ・UTM座標活用の勧め
陸上自衛隊北部方面総監部 後藤武文
- (2) 話題提供
 - ・DiMAPSについて (国土地理院北海道地方測量部)
 - ・浸水ナビについて (国土地理院北海道地方測量部)

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第・出席者名簿
 - ・DiMAPSパンフレット
 - ・浸水ナビ説明資料
- (2) 取組報告資料
 - ・災害時緊急撮影データの活用について
 - ・UTM座標活用の勧め
- (3) 関係団体等
 - ・札幌の街を地図と航空写真で見よう! (Digital北海道研究会)
 - ・地理空間情報活用セミナーin釧路開催案内 (北海道GIS技術研究会)
 - ・QGISの基本と防災活用 (北海道大学教授橋本雄一)

- ・日本写真測量学会北海道支部秋期特別講演会開催案内

(日本写真測量学会北海道支部)

6. 議事概要

第3回の会合は、防災・災害関連の地理空間情報の活用に関する取組について、次の2課題の発表を行った。

- (1) 日本写真測量学会北海道支部齋藤氏より、2014年礼文島土砂災害での緊急撮影対応と画像解析、災害時撮影データの活用の可能性等についてご報告いただいた。画像解析ソフトに関して、価格と性能の比較やオーバーハングしている地形のデータも取得できるかといった質問があり、精度を上げるため手作業でデータを修正することなどが必要なければ、数十万円程度のソフトでも十分な成果が得られること、垂直写真では写らない箇所も斜め写真を使えばデータが取得できるなどの回答があった。
- (2) 陸上自衛隊北部方面総監部後藤氏より、災害現場における UTM 座標の活用方法、UTM 座標の利点等についてご報告いただいた。消防、警察等他機関との情報共有の現状、標準地域メッシュを使ったメッシュデータと重ね合わせたときの問題、UTM グリッドの GIS データはどこかで配付されていないか等の質問があり、北海道による防災共通地図の活用の動きや訓練の状況の説明、陸上自衛隊では地図の上に UTM グリッドを表示するだけなので特に問題は生じないことについて回答があった。また、UTM グリッドの km1 ファイルを作成できるサイトがあることを国土地理院北海道地方測量部から報告した。

7. 話題提供

国土地理院北海道地方測量部より、DiMAPS 及び浸水ナビの公開について、ウェブでの操作を交えた紹介があった。

8. その他

Digital 北海道研究会から「札幌の街を地図と航空写真で見てみよう!」の案内、北海道 GIS 技術研究会から地理空間情報活用セミナー in 釧路の開催案内、北海道大学橋本教授から「QGIS の基本と防災活用」出版の案内、日本写真測量学会北海道支部から秋期特別講演会の開催案内がそれぞれ行われた。